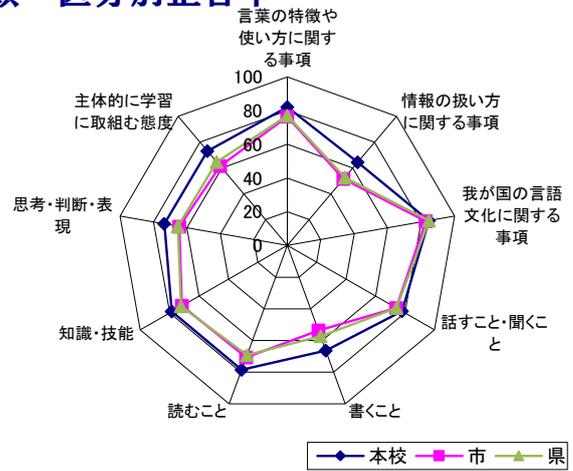


宇都宮市立富士見小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使いに関する事項	82.1	76.4	77.0
	情報の扱い方に関する事項	64.4	51.5	52.7
	我が国の言語文化に関する事項	84.6	82.8	84.7
	話すこと・聞くこと	77.9	74.1	74.2
	書くこと	66.3	53.7	57.2
	読むこと	78.5	70.7	69.2
観点	知識・技能	78.5	71.6	72.3
	思考・判断・表現	73.5	64.6	65.4
	主体的に学習に取り組む態度	73.1	61.6	64.7



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	<p>○本領域の平均正答率は82.1%で、県の正答率を5.1ポイント上回った。</p> <p>○「主語と述語について理解している」の平均正答率は92.3%で、県の正答率を17.3ポイント上回った。</p> <p>●「3年生の漢字の読み」については、県の正答率とほぼ同じか、下回ったものもあった。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>・3年生で学習した漢字について、宿題等で復習を行い、定着を図る。</p> <p>・新出漢字についても、宿題等で習熟を図るとともに、ミニテストなどで各自が定着度を確認できるようにする。また、文章を書く際にも習った漢字を意識して使用するなど、日常生活においても活用できるよう指導していく。</p>
情報の扱い方に関する事項	<p>○本領域の平均正答率は64.4%で、県の正答率を11.7ポイント上回った。</p> <p>○「国語辞典の使い方を理解している」の平均正答率は85.6%で、県の正答率を14.1ポイント上回った。</p> <p>●「情報と情報との関係について理解し、考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いている」の正答率は、40.4%であった。</p>	<p>・授業や朝の学習などにおいて、積極的に意味調べに取り組ませた結果、国語辞典の使い方が定着したと考えられる。今後も継続して指導していく。</p> <p>・社会など他教科の学習においても、資料の内容を関連付けて読み取ったり、文章に適切に書き表したりする活動に取り組む。</p>
我が国の言語文化に関する事項	<p>○本領域の平均正答率は84.6%で、県の正答率とほぼ同じである。</p> <p>●「漢字のへんやつくりを理解している」の平均正答率は84.6%で、県の正答率をわずかに下回った。</p>	<p>・漢字辞典の使い方を確認し、朝の学習や自主学習などで熟語集めをさせるなど、積極的に漢字辞典を活用させるとともに、新出漢字を学習する際、漢字の構成に着目させるようにする。</p>
話すこと・聞くこと	<p>○本領域の平均正答率は77.9%で、県の正答率を3.7ポイント上回った。</p> <p>○「話し合いの内容を聞き取る」の全ての設問で県の正答率を上回った。</p> <p>●「相手に伝わるように、自分の考えを、理由を挙げながら話している」の平均正答率は75.0%で、無回答が5.8%だった。</p>	<p>・朝のスピーチなどを通して、話し手が伝えたいことの中心を聞き取る力が身に付いてきた。今後は、質問や感想などを交流させ、自分の考えを伝える力の向上を図る。</p> <p>・話し合い活動を行う際に、相手の意見や発言をよく聞き、それらを受けて自分の発言につなげていくなど、話し合いのポイントを示すとともに、やりとりを重視した活動が行えるようにする。</p>
書くこと	<p>○本領域の平均正答率は66.3%で、県の正答率を9.1ポイント上回った。</p> <p>○「調べたことを文章にまとめる」「文章を書く」の全ての設問で県の正答率を上回った。</p> <p>●「目的を意識し、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている」の正答率は、44.2%であった。</p>	<p>・他教科の学習においても、自分の考えを理由を明確にしながらか表現する機会を多く設けるとともに、伝えたい内容が相手に伝わるように意識して書かせるなど、「書く」指導の充実を図る。</p>
読むこと	<p>○本領域の平均正答率は78.5%で、県の正答率を9.3ポイント上回った。</p> <p>○「物語の内容を読み取る」「説明文の内容を読み取る」の全ての設問で県の正答率を上回っていた。</p> <p>●説明文の「叙述を基に段落の内容を捉えている」の正答率は58.7%であり、他の設問に比べて平均正答率が低かった。</p>	<p>・読書活動を引き続き推進し、文章に触れる機会を多く作る。</p> <p>・物語文では、登場人物の行動や心情の変化に注意するなど、読む視点を与えることで、読解力を高める。</p> <p>・説明文では、段落相互の関係に注意し、筆者の意図を意識しながら読むように指導していく。</p>